



紹介者

小林 明治

日油  
取締役会長兼会長執行役員



福田 修二

太平洋セメント  
取締役会長

## パプアニューギニア出張記

昨年8月初旬にパプアニューギニア (PNG) に行ってきました。

人口は825万人、面積は日本の1.3倍、赤道直下の南半球にある熱帯の島国です。昨年11月には首都ポートモレスビーでAPECが開催されました。PNGの2番目の都市・ラエに当社のセメント粉砕工場があります。従業員は約150人で、日本から半製品を輸出しこの工場にセメントに仕上げ販売しています。

成田からオーストラリアのブリスベン経由でポートモレスビーに向かいました。税関では上着を着ていたのは私たちだけだったので目立ったのか、スーツケースの中まで調べられました。無事クリアしてやっとPNGの地を踏むことができました。

PNGを訪問する日本人は年間3,000人だそうです。治安が悪いので夜は外出禁止です。また、蚊が媒介するマラリアなどの病気もあることから防虫スプレーは必需品です。夜はホテルの部屋に大量に噴射してから休みました。

次の日は工場があるラエに向かいました。ポートモレスビーから飛行機で50分ほどです。空港から悪路を1時間程度走ると市内に着きます。工場は港に面しています。日本から2人が出向して経営、技術などをみています。PNGのセメント需要は年間25万トンです。そのうちの約半分をこの工場が供給しています。自慢は無災害が1,500日続いていることです。

ラエにはゴルフ場が一つあり、ストレス解消にも役立つようです。見学だけでしたが18ホールの立派なコースです。治安が悪いためプレイ中に強盗に襲われる危険がありますが、いつも空いていますので3時間もあれば18ホール回れます。一日3ラウンドも可能だそうです。気温は33度程度ですから夏の東京より涼しいのです。

日本への帰国はニューギニア航空の成田直行便で帰りました。7時間のフライトです。

PNGでも中国の進出が目覚ましく中国品のセメントシェアが50%あります。私たちは品質では絶対負けない自信があります。この国の発展に寄与することが最大の喜びです。ラエという首都から遠いハンディキャップを克服すべく頑張っています。

▶▶ 次回リレートーク

網谷 勝彦

日本コンクリート工業  
取締役会長